



さかそう通信

Sakajo

執筆・印刷
上甲 誠 (じょうこうまこと)
無所属 (1973年阪南市生まれ)
市政相談所: 〒599-0224 阪南市舞 4-30-2
電話 072-474-9211 メール m.j@mac-joe.net
ブログ http://mac-joe.net/

「ともにさかそう 笑顔とお互いさまのまち 阪南 (2012~2021)」~「ONE ACTION ~時代の1歩先をゆくまち~ (2022~2033)」
市民一人ひとりが1歩踏み出すことで、未来が形づくられ、やがて太い幹となるまち。地域経営の主体は地域に住む市民であり、その地域の市民、企業・団体、行政それぞれが、「わがごと」として、「オープン」に「双方向」で課題に取り組むことが重要です。

『共創による新しい地域価値が創造され、誰もが輝ける舞台都市・阪南』

~「さかそう通信」お届けします。

こんにちは。市議会議員の上甲です。
市政報告書「さかそう通信」第47号をお届けいたします。今回は少し時間がたつてしまいましたが3月議会の報告と、特集として新たにできました「阪南市総合計画」についてお伝えいたします。

一般質問では「住民自治」について

3月議会の一般質問においては「住民自治」について、主に
・住民センターについて
・地域まちづくり協議会について
この2点について聞かせていただきました。

住民センター―地域移譲へ今年度から営利目的OK

「地域にとつてもっと使いやすい住民センターに！」と訴え続けてきましたが、今年4月からようやく営利目的での使用がOKとなりました。

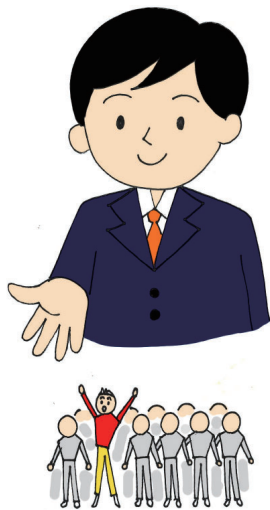
住民センターについて考えることは、地域の在り方(住民自治)にとつて重要なきつかけとなります。地域の皆様には、これから3年程度を目途に地域で譲り受けるか不要か、もしくは他の方法で運営かなどの判断をお願いすることとなります。

市は住民センター施設整備として1億円を積み立てて準備をしております。これから皆様のご協力をお願いします。

地域まちづくり協議会 まず職員が地域に向向く

地域まちづくり協議会とは、地域住民による自治をあらゆる分野(生活、福祉、防災、防犯、生涯学習、教育、まちづくりなど)において「横串刺し」にまとめ、進めていく組織です。

私からは「自分がやる」と手を挙げた地域に対し「出る杭を打つ」のではなく、「出る杭を上へ引き上げる」構えでサポートしてほしいと提案しました。



今年度、阪南市はできるだけ職員が地域に向向き、現状や課題を共有するところから始めるとのことでした。こちらにも皆様のご協力をお願いします。

議員報酬25%カットの 議員提案議案に反対

さて、一般質問とは別で、議会の最終日に大阪維新の会から「議員報酬25%カット」の議案が提出されましたが、それに以下の理由で反対いたしました。

私が昨年の選挙マニフェストを「阪南市の人口を増やすために財政非常事態宣言下の阪南市では、議員報酬を25%カットし、子育て世代に投資する」とさせていただいたのは大前提として、
・議員報酬の妥当性については現在、議長から市長に「特別職給料等審議会」での審議を依頼しており、まだ進行中である。

・今回の報酬カットが財政非常事態宣言の期間中のカットであれば、もちろん賛成だが、そうではない。

・この議案に対しては議会運営委員会でも多くの意見が出たにもかかわらず、強硬に押し切るやり方は議会運営を混乱させている。

私自身としてはこれからも左記のとおり実現に向けて頑張つてまいります。

上甲まこと公約

阪南市の人口を増やすため、財政非常事態宣言下の阪南市では、議員報酬を25%カットし、子育て世代に投資する。

上甲誠ブログ 人こそ街な



ほぼ毎日更新中！

<http://mac-joe.net/>



阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載！！

上甲誠市政報告座談会 さかそう会

【毎月】2回開催しています。

6月18日(土) 10時
あたごプラザ「ホール」

7月2日(土) 10時
箱作西住民センター

7月16日(土) 10時
あたごプラザ「もも」

市政相談・お問い合わせ

お気軽に

上甲誠市政相談所



お待ちしております！

大阪府阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211

メール mj@mac-joe.net

あたらしい総合計画

これから12年先の阪南

後半は今年度から新しく制定されました総合計画についてご説明します。



阪南市総合計画
2022~2033



ご覧の通り、本年度から12年先までの阪南市の計画です。

今回の計画の一番大きなテーマは、

ONE ACTION

「時代の1歩先をゆくまち」

市民一人ひとりが1歩踏み出すことで、未来が形づくられ、やがて太い幹となるまち。この「1歩先を行く」・・・という事かといえます。

・「ICT」(インターネットを利用したサービス・産業)の導入

・「スマートシティ」(市民中心にビジョンをはっきりして連携・広域連携)への転換

・「協働」でのまちづくり

この3点で、社会環境変化に対応し、協働の関係性を軸として「人の行動変容を

促す」とも記されています。

要は、スマホ・インターネットなどを活用して活性化を進め、地域としては市民協働を進め、行政としては広域連携をしながら、それぞれ新しい活動を促していく、ということです。



(2) 誰もが、健やかにいきいきと暮らせるまち

(3) 安全に、安心して暮らせる住み続けたいと思えるまち

(4) 人生100年時代を迎え、誰もが学んだ成果を地域で活かして輝けるまち

(5) にぎわいと交流を促し、自然環境と調和した未来のまち

(6) 持続可能な発展を支える行政経営のまち

・多世代にわたってつながりのあるコミュニティ
・さまざまな人が活躍する生涯現役のまち
・わがごと化できる地域プレイヤーによる地域創造

この3点が挙げられています。

将来の都市像は、

共創による新しい地域価値が創造され、誰もが輝ける舞台都市・阪南

いずれも「市民みんなで【前向きに】【ワガゴトとして】【和をもって】」一歩一歩進んでいこう」と集約されます。

各分野ごとには、

(1) 人と地域がつながり、多様な価値観とにぎわいによる共創のまち

として、細かくそれぞれの目標を示しています。阪南市の数ある計画のうち最上位に位置づけられる総合計画です。市役所や図書館にも置いてありますので一度皆様もご覧いただきたいと思えます。



最後までお付き合いいただきましてありがとうございます。

これからも一生懸命頑張ります。ブログ・後援会も含めて、今後ともよろしく願います。

阪南市議会議員 上甲 誠